

2015 年度 第 5 回 鋼構造運営委員会 議事録

1. 日時 平成 28 年 3 月 15 日(火) 13 時 00 分～16 時 00 分
2. 場所 建築会館
3. 出席者 多田元英, 五十嵐規矩夫, 一戸康生, 井戸田秀樹, 岡崎太一郎,
(敬称略) 兼光知己, 木村祥裕, 向野聡彦, 田川泰久, 竹内 徹, 田中 剛,
津田恵吾, 寺田岳彦, 中込忠男, 成原弘之, 平島岳夫, 増田浩志,
緑川光正, 見波 進, 宇佐美徹(記録)
欠席:稲岡真也, 岡本哲美, 越智健之, 河野昭彦, 笠井和彦, 澤本佳和,
吹田啓一郎, 西山 功, 原田幸博

4. 配付資料(05-03 は欠番)

- 05-01 2015 年度第 5 回鋼構造運営委員会議事予定(多田主査)
- 05-02 2015 年度第 4 回鋼構造運営委員会議事録(案)(宇佐美)
- 05-04 鋼構造座屈小委員会(井戸田幹事)
- 05-04-01 細長比に関わる用語の統一について(井戸田幹事)
- 05-04-02 小委員会査読原稿(井戸田幹事)
- 05-05 鋼構造接合小委員会(増田委員)
- 05-06 鋼構造制振小委員会(緑川委員)
- 05-07 鋼構造耐火設計小委員会(平島委員)
- 05-08 鋼構造環境小委員会(兼光委員)
- 05-09 鋼構造素材小委員会(見波委員)
- 05-10 鋼構造塑性設計小委員会(五十嵐委員)
- 05-10-01 本委員会用査読原稿(五十嵐委員)
- 05-11 鋼構造関連規準・指針の英文化小委員会(岡崎委員)
- 05-11-01 本委員会査読対応修正原稿
- 05-11-02～03 査読対応表(大崎先生)(岡崎委員)
- 05-12 2016 年度大会 PD 予告原稿案(平島委員)
- 05-13 鋼構造耐火設計指針改定部分の概要(平島委員)
- 05-13-01～07 鋼構造耐火設計指針改定原稿(平島委員)
- 05-14 質疑回答の一覧(井戸田幹事)
- 05-15 小委員会活動成果報告(多田主査)
- 05-16 2016 年度予算原案(多田主査)
- 05-17 大会プログラム編成会議の鋼構造部門の参加依頼者(多田主査)
- 05-18 各種アンカーボルト設計指針改定 WG 設置申請書(田川委員)

5. 議事内容

- (1) 資料 05-02 に基づき宇佐美より前回議事録の報告をして承認された。
- (2) 資料 05-04～05-11 に基づき各担当委員より小委員会の報告がなされた。

座屈小委員会(資料 05-04, 井戸田幹事)

- ・ 小委員会査読の内容に関して議論した中で、用語(例えば細長比等)の統一に関して検討した。
- ・ 査読用原稿は 4 月中に完成し、運営委員会査読に移行する。運営委員会の査読者は増田委員と岡本委員とし、6 月中にお願いしたい。
- ・ 構造本委員会の査読者は、3 月の本委員会で決定する予定。

接合小委員会(資料 05-05, 増田委員)

- ・ 高力ボルト接合設計施工ガイドブックの講習会は 5/11, 5/28 に、梁端混用接合 WG シンポジウムは 9/21 に開催。
- ・ 柱脚設計施工ガイドブックは脱稿し、運営委員会査読が終了して査読回答案を作成中。査読回答について査読者の了承が得られれば構造本委員会査読へ進む。構造本委員会の査読者は 3/18 の委員会で決める。
- ・ 2017 年度の大会 PD は、業務量的に難しいので見送りたい。

制振小委員会(資料 05-06, 緑川委員)

- ・ 次期改定に向けた申送り事項をまとめ、運営委員会資料として提出した。

耐火設計小委員会(資料 05-07, 平島委員)

- ・ 指針の鋼構造運営委員会での査読委員は見波委員と寺田委員。
- ・ 2016 年度 PD は 8/26, AM に開催し、まとめは吹田幹事に依頼した。
- ・ PD での CFT の説明に関しては、今回見送ることとした。

環境小委員会(資料 05-08, 兼光委員)

- ・ 今後の活動についての議論の中で、リユースの普及を進めることとなり、委員の追加として、井上委員(ヒロセ)と和田委員(新日鉄住金 Eng.)を追加したい。
→承認。事務局に連絡して、本委員会の附議とすること。

素材小委員会(資料 05-09, 見波委員)

- ・ 出版物に追加する事項(アルミ, 鉄筋, 溶接性, 鋼材規格等)について議論した。次回重点審議で内容を紹介する。
- ・ データベースの利用申請は現在 4 件。

塑性設計小委員会(資料 05-10, 五十嵐委員)

- ・ 運営委員会査読の対応を検討し、主に用語の統一や定義が議論の対象であった。
- ・ 修正対応については査読者(津田委員, 澤本委員)の了解を得たので、本委員会査読へ移行する。
- ・ 指針の囲み部分については、パブリックコメントを実施する。

鋼構造関連規準・指針の英文化小委員会(資料 05-11, 岡崎委員)

- ・ S 規準の本委員会査読対応が終了し、査読者 1 名は了解、もう一名は回答待ち。
 - ・ 鋼構造設計規準改定小委員会への申送り事項は、対応表にまとめてある。
 - ・ 鋼構造接合部設計指針の英訳の中に訳しづらいもの(仕口, 強度等)の紹介があった。
- (3) 資料 05-12 に基づき平島委員より 2016 年度大会 PD 予告原稿案について説明がなされた。
- ・ タイトルは”鋼構造耐火に関わる最新の研究と耐火設計への適用”とした。
 - ・ 討論を盛り上げるために、査読される見波委員, 寺田委員にはぜひ質問をお願いしたい。
- (4) 重点審議として資料 05-13 に基づき平島委員より、鋼構造耐火設計指針改定部分の概要

について説明がなされ、主に崩壊モードについて議論がなされた。

- ・ 設計の条件として変形制限は必要ないか。
→本指針では変形解析を要求していないので制限は設けていない。その代わりに、自動的に柱の軸変形が制限されるような条件式が与えられている。また数値解析結果によるその条件式の根拠が解説に示されている。
 - ・ 隣接部材の影響を考慮する必要はないか。
→火災区画に応じて隣接部材との関係を考慮することは必要であり、指針でも一部記述している。
 - ・ 荷重は、固定荷重の他、用途に応じた積載荷重、火災荷重を設定する。用途変更の際は再検討が必要だが、あらかじめ変更用途を想定して事前に検討することもある。
 - ・ 対象鋼材に、冷間成形角形鋼管以外の大臣認定材は入らないのか。SA440 など鉄連のデータがあると思う。
→鉄連から小委員会に提出されたデータは冷間成形角形鋼管のみである。また新鋼材の適用においては、高温強度のみならず、座屈に関する検討も必要となる。
- (5) 資料 05-14 に基づき井戸田幹事より、学会図書の質疑回答状況について確認がなされた。
- (6) 資料 05-15 に基づき多田主査より、鋼構造運営委員会関連の 2015 年度小委員会活動報告について説明がなされた。
- (7) 資料 05-16 に基づき多田主査より、鋼構造運営委員会の 2016 年度予算原案について説明がなされた。
- (8) 資料 05-17 に基づき多田主査より、大会プログラム編成会議の鋼構造部門の参加依頼者について説明がなされた。
- (9) 資料 05-18 に基づき田川委員より、各種アンカーボルト設計指針改定 WG 設置について説明がなされた。
- ・ WG 名は”各種アンカーボルト設計 WG”とする。
 - ・ WG に田川委員と津田委員を追加する。主査は運営委員会委員にも就かねばならないことを勘案の上、WG 内で再考いただく。その旨を鋼コンクリート合成構造運営委員会と中野委員に連絡する。
 - ・ 設置期間は 1 年とし、その後、小委員会とするか WG を継続するかはその時点で判断する。出版に関しては、今後考えていく。

6. その他

- ・ 鋼構造設計規準改定小委員会の追加委員は、山田委員(千葉工大)、見波委員、中野委員(宇都宮大)、小野委員(JSCA:日建設計)の他、新日鉄住金より 1 名(ミルメーカー)とする。
→設置申請書に追記し、3 月の構造本委員会に提出のこと。
- ・ 今後の重点審議は次の通り。
 - ◇ 2016 年度第 1 回(6/6)運営委員会:素材小委員会
 - ◇ 2016 年度第 2 回(7 月)運営委員会:環境小委員会
- ・ 次回の運営委員会の日時、場所は以下の通り。
 - 第 1 回 2016 年 6 月 6 日(月)、13:00-17:00、於:建築会館